

学習だより (第4号)

令和3年8月30日

夏休みが終了し、今日から学校が始まりました。お子様の夏休みの生活はどのようなものだったでしょうか。学習以外にも部活動やそれぞれの趣味に励んだり、ゆっくりと体を休めたりと充実した40日間を過ごすことはできたでしょうか。



9月9日(木)には1学期期末テストが実施されます。夏休み中に取り組んでみて、疑問が残っている部分については学校で質問をするよう家庭でも促してみてください。

【陽南中学校GIGAスクール構想の取組】

夏休みには、1人1台端末としてタブレットの持ち帰りと活用を図りました。AI学習(キュビナ)での課題の実施や自主学習として活用するなど、効果的な活用はできたでしょうか。AI学習(キュビナ)の活用法については今後も検討、改善していきたいと思います。また、タブレット内のソフトを活用した課題にも取り組むことで、技術的な面でも少しずつ向上することを期待しています。

以下、夏休み前の活用についてお知らせします。

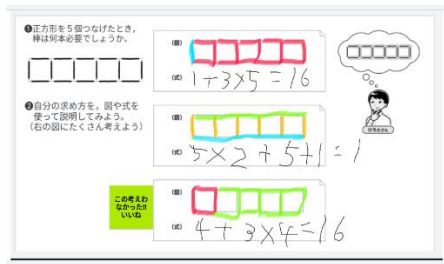
～SDGsについての調べ学習に活用～



各クラスを担当がMeetでつなぎ、テレビ画面を通して学年全生徒が同時にSDGsクイズに臨みました。

(左・中央左) また、タブレットで各自の課題について検索を行いました。(中央右・右)

～各教科でジャムボード、ドキュメント、スライドなどを活用～



左は数学でジャムボード活用した例になります。一人一人が、各自で考え方を記入後、全員がこのデータを各自のタブレットで見ることができ、感想やコメントを入れることができます。

個別学習から考え方の共有、全体でのまとめなどに活用しています。

～フォームで、アンケートや簡単なテストの実施～

各教科での小テスト以外にも、生徒会では生徒アンケートを実施しました。生徒会の生徒が自ら作成し実施することで、主体的に取り組む姿勢が広がっています。

他にも、美術科では写真を撮り写生に活用するなど、多くの教科で動画や画像を調べ授業に生かしています。

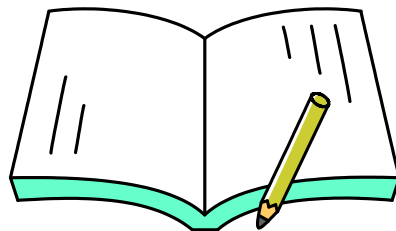
～A I型個別学習ドリル（キュビナ）の活用～

国社数理英の5教科では、A Iドリルが導入されました。A Iにより、生徒一人一人の課題を把握し、苦手な内容やミスの多かった内容を提示してくれるようになります。知識・技能の習得や理解度の確認として手段の1つとなります。学校でも生徒の進捗状況が把握できます。夏休みの課題として出ている学年、教科もありますが、多くの生徒は意欲的に取り組んでいます。

【評価について】（後日配付する別資料「評価の観点について」もご覧ください）

「生きる力」を育むために、すべての教科等の目標及び内容が、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で再整理されました。各教科における観点も、昨年度までの4観点（国語科は5観点）から「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到に整理されました。

この学習評価には、学習を通して身に付けるべき
資質・能力がどのくらい身に付いているかを見取り、
適切な支援を行うことで生徒の学習改善につなげる
という面も持ち合わせています。



数字のみにとらわれることなく、お子様の学習に対する意欲を高めたり、今後の成長につなげていったりするための1つとしてお考え下さい。

なお、以下の資料を参考にすると分かりやすいと思います。

- ・「生きる力 学びの、その先へ」文科省
- ・「新学習指導要領に基づく指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料」栃木県教育委員会

【全国学力・学習状況調査及びとちぎっ子学習状況調査】

結果を基に、中学校では「今後の課題」「指導方針」「指導方法」等の検討、改善を進めています。その結果については、個票を配付するとともに、後日、陽南中学校ホームページでもお知らせしていきます。保護者の皆様には家庭学習等への協力等よろしくお願いいたします。